

令和 8 年度予算編成方針

国・都の状況

我が国の景気は、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待されるものの、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響に加え、米国の通商政策や中東情勢の影響等による世界経済の悪化リスクなど、今後の景気動向には、引き続き注視が必要である。

また、都の歳入の根幹をなす都税収入は、法人関係税収の占める割合が高く、元来、景気動向に左右されやすい不安定な構造にある。令和6年度は、企業収益が堅調に推移したこと等により、都税収入は増収となったものの、今後の景気動向の不透明性を踏まえると、現時点では、都の財政環境の先行きを見通すことは困難な状況にある。

～（抜粋）東京都の「令和8年度予算の見積もりについて」～

本市の財政状況と今後の見通し

令和6年度においては、歳入では、法人市民税の増などにより市税全体は約22億円の増収となりましたが、本市の歳入の多くを占める市税収入は、景気動向に左右されやすい構造にあり、今後の経済情勢の不透明さを踏まえると、安定的な財源確保には課題を抱えています。

一方、歳出では、人件費などの義務的経費や、府中の森芸術劇場や学校施設の改築等により投資的経費が増加し、一般会計で約71億円の増となりました。

令和8年度に向けては、生産年齢人口の減少に伴う市税収入の減少が見込まれるほか、給与改定による人件費の増加に加え、新庁舎「はなれ」の整備に係る投資的経費の増など、歳出規模はさらに拡大する見込みであり、財政運営においては一層の工夫と選択と集中が求められます。

予算編成の基本方針①

令和8年度は、第7次府中市総合計画後期基本計画の初年度であり、これまでの取組の成果を継承しつつ、新たなまちづくりの方向性を具体化していく重要な節目となります。

こうした位置づけを踏まえ、**府中市総合計画の着実な推進を通じ、市民一人ひとりが安心して暮らし、持続的な発展と活力に満ちた未来を実現するための予算**として、

第一に、少子化・高齢化が進展する中で、すべての世代が安心して暮らせる地域社会の構築に向け、子育て支援や高齢者福祉の充実を図る施策を、スピード感を持って展開すること

第二に、物価高騰による市民生活への影響に的確に対応し、生活支援や地域経済の安定化を図るとともに、持続可能な財政運営の基盤を強化すること

予算編成の基本方針②

第三に、特殊詐欺をはじめとする犯罪の未然防止を図るほか、地域の安全・安心を守るための対策を強化し、市民が安心して暮らせる環境を整備すること

第四に、中心市街地の活性化をはじめ、地域の魅力とにぎわいを創出し、都市の活力を高めるまちづくりを推進すること

第五に、DXの推進により、業務の効率化と生産性の向上を図るとともに、市民が利便性を実感できる行政サービスの提供を推進すること

⇒これらの柱のほか、**重点プロジェクト**に位置付けられている施策や「**令和8年度政策立案の基本的な考え方**」に基づき、**限られた財源を最大限に活用しながら、目指す都市像の実現に向けて着実に歩みを進めていくことを基本として予算編成**を行います。

予算編成の実施方針①

全般事項

- ✓ 予算編成にあたっては、**年間の予算を的確に見積り**、予定されるすべての歳入及び歳出を適切に計上すること。
- ✓ **物価や賃金の上昇の影響を適切に反映**すること。ただし、事業の見直しも含め、安易な歳出増とならないよう留意すること。
- ✓ R 6の**決算状況、行政評価**及びR 7の**執行状況を必ず確認**すること。
- ✓ 市民要望や、これまでの議会審議における意見及び監査委員からの指摘等について、十分留意すること。
- ✓ 事業の必要性等を説明するときは、**誰もが納得でき、客観的に示せる数字を用意**すること。

予算編成の実施方針②

歳入について

- ✓ 市税などについて、**収納率の更なる向上**に努めるとともに、未収金の縮減に努めるなど、適切な債権管理の徹底を図ること。
- ✓ クラウドファンディング、ネーミングライツ及び公有財産の活用等を検討し、より一層の**税外収入の確保**に努めること。
- ✓ 国・都の予算編成の動向に最新の注意を払い、制度改正の時期を逸することなく対応し、**積極的な国庫・都支出金の確保**に努めること。ただし、新たな事業に対する補助や時限的な補助を活用する場合は、後年度の一般財源の持ち出しを考慮すること。

予算編成の実施方針③

歳出について

- ✓ 現状の取組をそのまま継続するのではなく、事業の優先順位を的確に見極め、**真に必要な事業にリソースを振り分ける**こと。
- ✓ 流用元になった事業や不用額が生じた事業については、精査の上、**実績に見合った要求額**とすること。
- ✓ 委託業務については、仕様内容が適正なものであるかを再度検証するとともに、委託の範囲を最小限とすること。

予算編成の実施方針④

削減目標額

- 令和8年度の歳入と歳出の見積りを算出したところ、歳出が歳入を約9億円上回っている。この乖離が今後の予算編成過程において調整が必要な額。

★ 歳入の見込額: 1, 278億円

★ 歳出の見込額: 1, 287億円

削減目標額

9億円

歳入

- ・ 歳入の根幹である市税は景気や物価動向などの影響を受けやすく、依然として先行きは不透明である。
- ・ 令和8年度は生産年齢人口の減少に伴い、市税の減収が見込まれる。

歳出

- ・ 給与改定により、職員の人件費が増加する。
- ・ 物価高騰の長期化や最低賃金の引き上げ等により、経常経費が増加する。
- ・ 新庁舎「はなれ」の整備をはじめとする投資的経費が増加する。

予算編成の実施方針⑤

経常的経費（一次経費）のシーリング

区分	内容と削減目標
A経費	新規事業、レベルアップ事業、職員提案事業、見直し事業・廃止事業 ● 新規レベルアップ事業は、 既存事業の最適化（見直し、廃止等）により財源を確保
B経費	日額・時間額制会計年度任用職員分を除く人件費、扶助費、公債費、繰出金など ● 扶助費は 2%増が限度 （令和7年度当初予算比）
C経費	上記以外 ● 重点プロジェクト・施設管理経費は現状維持 ● 行財政運営に関する施策に係る経費は 3%減 （令和7年度当初予算比） ● その他の事業は 7%減 （令和7年度当初予算比）

予算編成の実施方針⑥

投資的経費（二次経費）

- ✓ 事業計画等に基づいた予算要求とすること。
- ✓ 優先順位を決定する際には、債務負担行為解消分や緊急度の高いものを優先すること。
- ✓ 予算見積りに当たっては、懸案事項を整理し、課題を洗い出した上で、課題の解消を図った見積りの積算を行うこと。
- ✓ 施工方法や発注時期を工夫するなどコストの縮減・入札不調の回避に最大限努めること。
- ✓ 公共施設マネジメント、インフラマネジメントを踏まえ、中長期的な視点を持つこと。

予算編成の実施方針⑦

特別会計・企業会計

- ✓ 一般会計と同様、令和7年度の執行状況を確認すること。
- ✓ 一般会計からの繰入基準に沿って適切な見積りをする。
- ✓ 競走事業会計は、売上増に努め、収益事業収入を確保すること。